11.22 県政シンポ

主催　飛騨地域革新懇

「県政が見えない」との声が聞かれますがどうしてでしょう。　一つは、県政の働いていることが、私たちの暮らしに届いていない現実があると思います。（民間調査会社が発表した都道府県「魅力度ランキング」で岐阜県は４２位。）

二つは、私たち自身が自分のくらしを見つめ県政を自分たちの心に引き寄せていない問題もあるのではないでしょうか。（つまり無関心）

来る１月７日には知事選もあります。県政のあり方を問う「県政シンポ」を県議のみなさんや普段に県政に関わる諸団体の方に日頃思っていることを発言していただき私たち自身の関心を深めたいと考えました。ぜひ足を運んでいただきますようお願いします。

《シンポ開催要項》

○とき　　１１月２２日（日）午後２時～４時

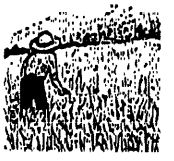
○場所　　高山市民文化会館　（高山市昭和町 1-188-1）

○シンポパネリスト（発言者）

・県会議員（各会派に参加を要請しています。）

・小野木三郎（飛騨革新懇代表
　ライチョウから県政を考える）

・子ども教育関係者、医療関係、種苗法など農業関係者から県政の問題点・課題点を発言していただきます。



○主催者　飛騨地域革新懇話会

（市民の手で政治革新を果たすため意見交換の場を提供しようとする団体です。　連絡先　事務局長　田中節雄０９０－７６９２－０００３）

今、考えて見よう！県政と私たちのくらし